

腹腔鏡下での大腸腫瘍切除手術を受ける予定あるいは受けた経験のある  
患者さま又はご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さまへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さまは、その旨、下記の間い合わせ先までご連絡をお願いします。

**【研究課題名】**

腹腔鏡下大腸腫瘍切除術後の術後合併症、特に手術部位感染（SSI）と腫瘍学的予後の関係の検討

**【研究の目的】**

腹腔鏡を用いた大腸腫瘍切除手術を受けた患者さま、および手術予定の患者さまを対象に、診療情報（カルテ情報）や手術後の経過を調査することにより、術後の合併症、特に手術部位の感染症（SSI）と切除手術後の長期成績との関係を検討します。

**【対象となる方】**

2013年より2021年3月31日までに当センター外科において腹腔鏡下大腸腫瘍切除手術を施行したまたは施行予定の患者さま

**【使用する検体・診療情報】**

診療録より下記の内容を調査します。

- ① 年齢、性別、BMI、併存疾患、手術の対象となった疾患、大腸癌その他の腫瘍の進行度
- ② 手術時間、術中出血量、手術術式
- ③ 術後感染性合併症の有無とその詳細（合併症の種類や発生時期など）
- ④ 術後経過観察において再発が診断された日と再発部位、万一お亡くなりになった場合には死亡日と死亡原因

術後5年間の診療録より調査した内容から以下の項目について検索します。

- ① 周術期合併症の有無による癌の無再発生存率の比較
- ② 周術期合併症の有無による全生存率の比較
- ③ 癌の無再発生存率や全生存率に影響を及ぼす可能性のある因子として、年齢、性別、BMI、併存疾患、手術対象疾患、癌など悪性腫瘍の進行度などの患者さまの因子、手術時間、術中出血量、手術術式など手術因子を含めて、感染性合併症と、腫瘍学的予後・全生存率との関係

**【研究期間】**

臨床研究倫理審査委員会承認日（2020年10月）～2026年3月31日

**【個人情報保護】**

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は公表いたしません。

**【研究責任者】**

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 奥山 隆（准教授）

**【問い合わせ先】**

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 担当者：奥山 隆（准教授） 受付時間 10時～16時  
電話番号：048-965-1130（医局直通） Fax 番号：048-965-1130

以上

2020年9月4日作成